

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 6 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族の意見や要望を吸い上げる為にアンケートを実施する予定だったが、まだ実施されていない。また、以前は家族への通信も実施していたが、現在は中止している状態である。	改めて家族へのアンケートを実施し、運営及びサービスの向上へ繋げていきたい。また、家族への通信は家族の要望も多い為、再度、家族への通信を再開していく。	①アンケートの作成と配布。 ②アンケートを元に職員会議において検討会をおこなう。 ③家族への通信の再開(2ヶ月に1回の配布)	3ヶ月
2	33	看取りについては、マニュアルは整備しているが、実際活用されていない為、今後看取りケアの段階になったら家族の同意をもらい、職員間の研修もおこないながら終末期ケアを実施していく必要がある。	終末期ケアの実施	①終末期ケアを迎える時は、早めに家族、主治医との話し合いをおこない方向性を明確にする。 ②家族の同意書をもらい職員間で、ホーム内での看取りケア実施取り組む。	適宜
3	35	火災に対してではなく、地震や水害等のマニュアルを作成し、訓練を実施していく必要がある。	地震、水害等を含めたマニュアルの見直しと火災のみならず、地震、水害時の訓練を実施していく。	①防災マニュアルの見直し ②年間の防災訓練計画において、年1回は地震、水害時の訓練を実施する。	12ヶ月
4	36	日中、使用しないポータブルトイレについては、利用者の尊厳を重視し、目につかないような配慮が必要である。	日中、使用しないポータブルトイレは片付けるか目隠しをして、利用者の尊厳を重視し、来客が来ても不快にならないように配慮する。	ポータブルトイレはが外から見えないように、衝立をする。	即日
5					ヶ月